

第6章 3. 西ヨーロッパ中世世界の変容 a. 十字軍とその影響

①中世西ヨーロッパの安定…西暦[1 **1000**]年ごろから約300年間

農業技術の進歩…[2 **三圃**]制農法の普及、[3 **(有輪)犁**]や水車の使用
農業生産力の増大→人口の飛躍的増加

三圃制農法…農地を春耕地・秋耕地・[4 **休耕地**]の3つにわけ、年ごとに順次利用する方法。3年に一回休耕地とすることで[5 **地力の回復**](土地の栄養分の回復)をはかった。

②西ヨーロッパ世界の[6 **膨張**]

- 1)[7 **開墾**]運動
=シトー修道院が中心となる
- 2)[8 **オランダ**]の干拓
- 3)[9 **エルベ**]川以東へのドイツ人の東方植民
- 4)イベリア半島での[10 **国土回復**]運動
→[11 **イスラム**]勢力と戦う
- 5)十字軍の東方遠征

③十字軍運動=11世紀末から13世紀後期にかけて、西ヨーロッパの[12 **キリスト教**]勢力が聖地[13 **エルサレム**]の占領をめざし、[14 **イスラーム**]勢力と戦ったできごと。

④11世紀後半[15 **セルジューク**]朝が小アジアに進出→ビザンツ皇帝[16 **ローマ教皇**]に援助要請

③ローマ教皇[17 **ウルバヌス2世**]、[18 **1095**]年[19 **クレルモン**]宗教会議で十字軍派遣を決定。

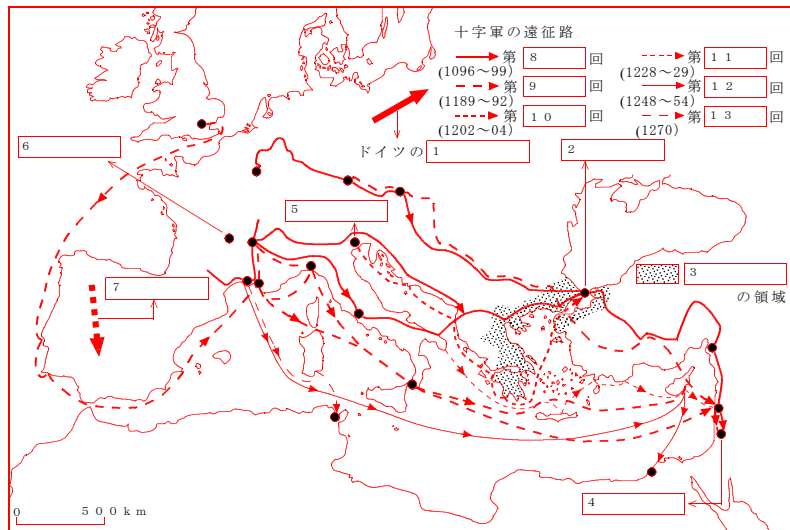
クレルモン宗教会議…[20 **1095**]年、ローマ教皇[21 **ウルバヌス2世**]の提唱により南フランスで開かれた会議。聖地[22 **エルサレム**]「奪回」のため[23 **十字軍**]の派遣を決定した。

十字軍関係年表

- 1055年[24 **東西教会**]の分裂→東西教会の対立→ローマ教会再統一をのぞむ
- 1077年[25 **カノッサの屈辱**]→叙任権闘争つづく(～1122[26 **ヴォルムス協約**])
- 1095年 クレルモン教会会議→1096年 第1回十字軍出発

④経過

1)第1回十字軍(1196～99)→1199[27 **エルサレム**]占領に成功=エルサレム王国樹立



十字軍の遠征路

2)第3回十字軍(1189～92)→アイユーブ朝の[28 **サラディン**]と戦い、失敗

3)第[29 **4**]回十字軍(1202～04)→[30 **ヴェネツィア**]商人の意を受け[31 **コンスタンティノープル**]を攻撃→[32 **ラテン**]帝国を建てる

4)第5回十字軍…話し合いによりエルサレムを平和的に解放回復→教皇らの反発により挫折
フリードリヒ2世 →以後、13世紀後半までつづく(7回)

5)ドイツ騎士団など[33 **宗教騎士団**]の結成、[34 **少年十字軍**]の悲劇も発生

11世紀後半、西アジアに進出してきた[35 **セルジューク朝**]に小アジアを奪われた[36 **ビザンツ**]帝国はこれまで対立関係にあった[37 **ローマ教皇**]に聖地[38 **エルサレム**]奪回のための協力をもとめた。これをうけローマ教皇[39 **ウルバヌス2世**]は1095年[40 **クレルモン**]宗教会議で[41 **十字軍**]を派遣することを決定した。

こうして[42 **1096**]年以降、13世紀まで7回におよぶ遠征軍が送られた。第1回遠征は[43 **エルサレム**]占領に成功したが、それ以降は失敗があいつぎ、第4回十字軍が[44 **ヴェネツィア**]商人の意をうけて[45 **コンスタンティノープル**]を攻撃するといったできごとすら発生した。

⑤十字軍の背景

- 1)ローマ教皇のねらい…[46 **東西教会再統一**]と、[47 **叙任権闘争**]での優位をめざす。
- 2)諸侯・騎士のねらい=[48 **戦利品**]や領土の獲得
- 3)北イタリア諸都市(商人)=49 **商業的利益の拡大**

4)農民=負債の帳消しや[50 **身分からの自由**]をめざす

⑥十字軍の影響・意義

- 1)ローマ教皇…一時的に権威を高め、教皇[51 **インノケンティウス3世**]のとき絶頂期に
→しだいに権威を失う
- 2)[52 **国王**]…戦闘指導者として活躍→諸侯、騎士らへの影響力強化
- 3)騎士・諸侯→経済負担から、没落傾向をすすめる
- 4)[53 **ヴェネツィア**]やジェノヴァなど[54 **北イタリア**]都市→[55 **東方**]貿易の拡大により繁栄

東方貿易…ヨーロッパ人が[56 **地中海**]を経路として、東地中海沿岸の[57 **イスラム世界**]などとの間の貿易。[58 **ヴェネツィア**]やジェノヴァなど[59 **北イタリア**]都市の商人を中心とした。東方の[60 **香辛料(胡椒)**]などをヨーロッパの銀や毛織物と交換した。

5)西ヨーロッパ内部における[61 **遠隔地**]交易の発展

6)視野の拡大・西ヨーロッパ文化への刺激

十字軍の結果ヨーロッパは大きく変貌した。[62 **教皇**]は一時権威を高め、インノケンティウス3世のとき絶頂に達したが遠征の失敗の中で権威をおとし、代って指揮官としてたつた[63 **国王**]らが、従軍の費用などの出費で衰えた[64 **諸侯・騎士**]らをおさえて力を伸ばした。またイスラム圏との[65 **東方**]貿易も発展、ヨーロッパ内部の[66 **遠隔地**]交易も発展した。